

第47回「日本語と外国語との対照言語学的研究会」

認知言語学・機能言語学から見る 日英語の現象

発表1 14:00-15:00

大谷直輝（東京外国語大学総合国際学研究院，准教授）

「英語の *far from* V 構文について」

発表2 15:10-16:10

佐近 優太（神田外語大学外国語学部，講師）

「状態空間モデルを用いた英語比較級交替における
形式選好の慣習化過程の推定」

講演 16:20-17:50

町田章（日本大学法学部，教授）

「間主観性を出発点とした言語研究の可能性」

認知言語学・機能言語学の観点から行われた3つの研究を紹介します。
事態を認識する方法や、言語の使用における様々な制約がどのように
言語の形式を動機づけるかに関して、日本語と英語の事例を用いて
見ていきます。

日時

10月17日(土) 14:00~17:50

会場

Zoom開催

参加費

無料



◆事前申し込み方法◆

QRコードより事前申し込みをお願いします

締め切り：10月16日（金）14時まで

事前申し込みをされた方に、講演会の前日（10月16日）リンクをお送りします

対照日本語部門：

幸松英恵 秋廣尚恵 大谷直輝 川村大 土肥篤 中村彰 花蘭悟 降幡正志 三宅登之 山田洋平

お問い合わせ先（国際日本研究センター） tel:042-330-5794.

mail: in-icjs@tufs.ac.jp